

「どんな危機にも打ち勝つ、100年企業の法則」



TOMA コンサルタンツグループ代表取締役 理事長
公認会計士
税 理 士
東京銀座ロータリークラブ会員

藤 間 秋 男 様

私が企業のコンサルティングに携わって40年。現在は150名の専門家集団を率いて、お客様もおかげさまで1000社ほどになりました。これまで業績の良い会社、悪い会社をいろいろ見てきて、老舗企業について沢山取材をしてきました。そのような経験から、学んだことを今日はお話させていただきます。

【人を創る会社は生き続ける】

100年続く企業には、およそ4代の社長が必要です。4代の社長がみな立派に経営を続けていかなければ、100年企業は創れません。その意味でいえば、100年企業への第一の秘訣は、人を創っていくことだと思います。

会社は元来つぶれるようにできています。日本経済新聞のデータでは、創業した企業が10年経て残るのはたった5%です。30年経つと、1%以下になるという説もあります。

30年経つとつぶれる理由は、商品もお客様も社員も変わるからです。お客様の求める価値や、お客様自体も入れ替わり、企業が買収、合併されることも珍しくない時代です。さらに社員も入れ替わります。

したがって、30年も経つと、会社はすべて変わります。だから会社はつぶれる。さらに重要なのは、社長はいつか亡くなるということです。衰えもします。

ならば、どうやれば会社は100年続くのか。

まず経営者の方に考えてもらいたい。「自分の代だけで会社が終わっていいのか」

みなさんの会社が存在することで、社員数の何倍もの人が生活しています。にもかかわらず、会社をなくしていいのでしょうか。社員とその家族だけでなく、取引先も、仕入先も、会社がなくなると困ります。会社は社会にとって存在理由が必ずあります。

自分の代で終わらせないために人を創り続けること、これが100年企業へのスタートだと私は思います。

※ 100年企業を創るための10か条

1. 「明るく元気前向きに」絶対に諦めない気持ちを持つ
2. 「打つ手は無限」がすべての突破口
3. 「働きがいのある会社づくり」で、社員が自主的に動く
4. 社員、お客様と共有する経営理念で利益倍増
5. 絶対に儲かる仕組みづくり、成長する仕組みづくり
6. 顧客を分析し、未来客を獲得する 打つ手300大公開
7. 目標達成を具体化するための経営会議（コミット）
8. 人事制度を整備し、評価をもとに社員の成長を促す仕組み
9. 財務・税務に強くなり、お金の働きを把握する
10. 会社の将来を決める経営計画策定（必ず利益が出る）

ほんの一言

“ロータリーライフを楽しむ”と言われるが、夫々の性格や年齢によって、様々と思われる。9月の誕生祝のスピーチで79歳になるF氏の「何も活動はできないが、年齢を重ねるごとに出席が楽しくなっている。次代の者を出せるまでは頑張りたい……」との要旨だったが、久し振りに胸が熱くなった。ところで、お祝い中の小唄の歌詞をご披露したい。

“優しくされればつけあがり 気に入らなければ怒りだし 小言を云われりや
直に泣き 浮気をされれば角をだす さりとて殺せば化けてでる ほんとに女は
こわいもの けれども居なけりや困るでしょう みなさん精々ご用心 アァア怖
やの怖やの……”

諸君、女房殿を精々、労りましょう。

酔蜻蛉

<今週担当 山尾尚司>